

社会資本総合整備計画 事後評価書（中間評価書）

平成26年3月18日

計画の名称	岡山県旭川・吉井川流域における未来へ引き継ぐ清流づくり																
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）					交付対象	津山市、備前市、赤磐市、真庭市、美作市、和気町、勝央町										
計画の目標																	
下水道整備を行い、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。																	
計画の成果目標（定量的指標）																	
①下水道処理人口普及率を52%(H22)から57%(H26)へ向上させる。 ②下水道による都市浸水対策達成率を69%(H22)から74%(H26)へ増加させる。 ③処理場・ポンプ場における長寿命化計画策定率を0%(H22)から100%(H26)へ増加させる。 ④処理場・ポンプ場における長寿命化対策実施率を0%(H22)から100%(H26)へ増加させる。																	
定量的指標の定義及び算定式																	
										定量的指標の現況値及び目標値	備考						
										当初現況値 (H22当初)		中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)				
① 下水道処理人口普及率 下水道を利用できる人口(人)／総人口（人）										52%	55%	57%					
② 下水道による都市浸水対策達成率 浸水対策完了済み面積(ha)／浸水対策を実施すべき面積(ha)										69%	70%	74%					
② 処理場・ポンプ場における長寿命化計画策定率 長寿命化計画策定済み処理場・ポンプ場（箇所）／長寿命化計画を策定すべき処理場・ポンプ場（箇所）										0%	100%	100%					
③ 処理場・ポンプ場における長寿命化対策実施率 長寿命化対策完了済み処理場・ポンプ場（箇所）／長寿命化計画策定済み処理場・ポンプ場（箇所）										0%	0%	100%					
全体事業費	合計 (A+B+C)	22,296百万円	A	22,169百万円	B	0	C	127百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	0.6%							
事後評価（中間評価）																	
○事後評価（中間評価）の実施体制、実施時期																	
事後評価（中間評価）の実施体制							事後評価（中間評価）の実施時期										
津山市、備前市、赤磐市、真庭市、美作市、和気町、勝央町							H26年3月										
							公表の方法										
							津山市等各HP上にて公表										
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 道路事業																	
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	道路 種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
A1-1-1	下水道	一般	津山市	直接	—	汚水	新設	津山処理区	汚水管φ150～φ400 L=53.5km	津山市						4,930	
A1-1-2	下水道	一般	津山市	直接	—	雨水	新設	津山排水区	雨水渠L=1.3km PG2基	津山市						620	
A1-1-3	下水道	一般	津山市	直接	—	水セ	改築	津山浄化センター	汚泥処理 脱水機・中央監視	津山市						365	
A1-1-4	下水道	一般	津山市	直接	—	水セ	増設	津山浄化センター	水処理施設電気・機械4能目(処理能力37,200m3/日)	津山市						502	
A1-1-9	下水道	一般	津山市	直接	—	雨水	全種	設計調査	浸水対策計画策定	津山市						30	
A1-1-10	下水道	一般	津山市	直接	—	水セ	増設	勝北浄化センター	汚泥処理 脱水機・中央監視	津山市						50	
A1-1-11	下水道	一般	津山市	直接	—	汚水	新設	加茂処理区	汚水管φ75～φ150 L=1.5km	津山市						100	
A1-1-12	下水道	一般	津山市	直接	—	汚水	新設	久米処理分区	汚水管φ100～φ200 L=1.5km	津山市						100	
A1-2-1	下水道	一般	備前市	直接	—	汚水	新設	香登汚水第1号幹線	汚水管 φ300 L=0.6km	備前市						101	
A1-2-2	下水道	一般	備前市	直接	—	汚水	新設	木生汚水第1号幹線	汚水管 φ250 L=0.9km	備前市						318	
A1-2-3	下水道	一般	備前市	直接	—	汚水	新設	伊里汚水第1号幹線	汚水管 φ250 L=1.2km	備前市						367	
A1-2-4	下水道	一般	備前市	直接	—	汚水	新設	三石汚水第1号幹線	汚水管 φ200 L=0.6km	備前市						86	
A1-2-6	下水道	一般	備前市	直接	—	汚水	新設	備前処理区	汚水管 φ150～φ200 L=16.4km	備前市						1,562	
A1-2-7	下水道	一般	備前市	直接	—	汚水	新設	三石処理区	汚水管 φ150～φ200 L=1.3km	備前市						126	
A1-2-9	下水道	一般	備前市	直接	—	汚水	全種	設計調査	調査・設計等	備前市						80	
A1-3-1	下水道	一般	赤磐市	直接	—	汚水	新設	桜が丘西第3・西中・下仁保・五日市・岩田・穂崎汚水幹線	汚水管φ150～φ400 L=7.6km	赤磐市						1,807	
A1-3-2	下水道	一般	赤磐市	直接	—	汚水	新設	山陽処理区	汚水管φ150 L=30.1km	赤磐市						3,008	
A1-3-3	下水道	一般	赤磐市	直接	—	汚水	新設	殿谷汚水幹線	汚水管φ150～250 L=1.3km	赤磐市						129	
A1-3-4	下水道	一般	赤磐市	直接	—	汚水	新設	熊山処理区	汚水管φ150 L=3.4km	赤磐市						340	

A1-3-5	下水道	一般	赤磐市	直接	—	水セ	改築	桜が丘東浄化センター	長寿命化対策	赤磐市						650	長寿命化
--------	-----	----	-----	----	---	----	----	------------	--------	-----	--	--	--	--	--	-----	------

A1-3-6	下水道	一般	赤磐市	直接	—	汚水	改築	山陽処理区	管更生φ250～300 L=3.0km	赤磐市							200	
A1-3-7	下水道	一般	赤磐市	直接	—	雨水	新設	河本排水区	雨水渠 L=0.4km	赤磐市							117	
A1-3-8	下水道	一般	赤磐市	直接	—	雨水	新設	吉井川左岸排水区	調整池 7,400m3	赤磐市							285	
A1-4-1	下水道	一般	真庭市	直接	—	汚水	新設	久世中継ポンプ場	汚P×3台(7.0m3/分)	真庭市							568	
A1-4-2	下水道	一般	真庭市	直接	—	水セ	新設	久世浄化センター砂ろ過施設	上向流移床型ろ過(5.0m3×4基)	真庭市							240	
A1-4-3	下水道	一般	真庭市	直接	—	汚水	新設	久世処理区	汚水管φ150 L=10km	真庭市							1,072	
A1-4-4	下水道	一般	真庭市	直接	—	汚水	全種	設計調査	調査・設計等	真庭市							61	
A1-4-11	下水道	一般	真庭市	直接	—	汚水	新設	勝山処理区	汚水管φ150 L=9km	真庭市							850	
A1-4-12	下水道	一般	真庭市	直接	—	汚水	全種	設計調査	調査・設計等	真庭市							20	
A1-4-21	下水道	一般	真庭市	直接	—	水セ	新設	落合浄化センター	処理能力(1,220m3/日)	真庭市							1,646	
A1-4-22	下水道	一般	真庭市	直接	—	汚水	新設	落合処理区	汚水管φ150 L=8km	真庭市							773	
A1-4-23	下水道	一般	真庭市	直接	—	汚水	全種	設計調査	調査・設計等	真庭市							66	
A1-5-1	下水道	一般	美作市	直接	—	汚水	新設	美作処理区（関連特環）	汚水管φ150、L=1.1km	美作市							87	
A1-5-2	下水道	一般	美作市	直接	—	汚水	新設	土居処理区	汚水管φ150、L=0.5km	美作市							26	
A1-6-1	下水道	一般	和気町	直接	—	水セ	改築	和気浄化センター	水処理施設、汚泥施設	和気町							775	
A1-7-2	下水道	一般	勝央町	直接	—	水セ	増設	勝央浄化センター	汚泥処理施設増設(1,750kg/日)	勝央町							112	
小計（道路事業）																	22,169	
A2																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
											H22	H23	H24	H25	H26			
合計																		
B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
										H22	H23	H24	H25	H26				
合計																		
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考		
C-1-1	下水道	一般	津山市	直接	—	浸水対策・設計調査	設計調査	内水ハザードマップ作成	津山市	H22	H23	H24	H25	H26		5		
C-3-1	下水道	一般	赤磐市	直接	—	新設	山陽処理区	汚水管φ150 L=1.2km	赤磐市							120		
C-3-2	下水道	一般	赤磐市	直接	—	新設	熊山処理区	汚水管φ150 L=0.1km	赤磐市							2		
合計																	127	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考	
C-1-1	基幹事業で作成する浸水想定区域図に緊急時の避難経路・避難先等を表示することで、災害時における住民の適切な対応を促し、浸水被害の軽減を図る。																	
C-3-1	基幹事業で整備する管渠（A1-3-2）に接続する枝線管渠の整備を一体的に行うことにより、効率的な普及促進を図る。																	
C-3-2	基幹事業で整備する管渠（A1-3-4）に接続する枝線管渠の整備を一体的に行うことにより、効率的な普及促進を図る。																	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・ 下水道の整備により、汚水の排除による生活環境の改善及び公共用水域の水質保全が図られた。 ・ 都市浸水区域における排水対策を進めた結果、内水氾濫被害の軽減が図られた。 ・ 長寿命化計画策定及び対策実施により、事故の未然防止及びライフサイクルコストの最小化が図られた。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（下水道普及率）	中間目標値	55%	目標値と実績値に差が出た要因	・ 汚水管渠の幹線整備を優先したため普及率向上に繋がらなかった。 ・ 今後枝線整備を行うことにより普及率向上に努める。
		中間実績値	54%		
	指標②（下水道による都市浸水対策達成率）	中間目標値	70%	目標値と実績値に差が出た要因	
		中間実績値	70%		
	指標③（長寿命化計画策定率）	中間目標値	100%	目標値と実績値に差が出た要因	
		中間実績値	100%		
	指標④（長寿命化対策実施率）	中間目標値	0%	目標値と実績値に差が出た要因	
		中間実績値	0%		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況					
3. 特記事項（今後の方針等）					
・ 引き続き下水道整備の促進を行い、目標達成を図っていく。					